

## 会 議 録 (概要)

会議の名称	平成 28 年度 第 1 回 佐渡市地域公共交通活性化協議会
開催日時	平成 28 年 6 月 30 日 (木) 9 時 30 分開会 11 時閉会
場所	佐渡島開発総合センター 2 階 会議室
議題	(1) 報告 ①市内バス路線の現状について ②平成 27 年度 事業報告及び決算報告について ③平成 27 年度 監査報告について (2) 協議 ①地域内フィーダー系統確保維持事業認定申請について (国仲・金丸線、宿根木線)
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	別紙 委員名簿のとおり
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	0 人
備考	

会議の概要 (発言の要旨)	
発言者	議題・発言・結果等
委員	《開会》 あいさつ
事務局長	委員紹介
事務局	《報告》 ①市内バス路線の現状について ○資料No. 1 について説明
委員	ここ数年、高齢者路線バス運賃割引サービスが浸透してきていると実感している。人口減少は避けがたいとは思いますが、お年寄りが増えていくと思いますので、通院や買い物に使いやすい低床バス

	<p>の導入を頑張ってやっていきます。</p> <p>本線の状況では、現金収入が上がっていますので、佐渡病院への乗り入れ等が上手くいっていると思います。</p> <p>観光の面でもここ数年は個人のお客が増えているのが佐渡汽船さんの数字を見ても分かりますし、外国人のお客もいらっしゃるので増える要素というのはその辺りと考えています。</p> <p>乗り放題のフリーパスについても窓口で外国人のお客がすぐ分かるようにする対応は必要と考えています。世界遺産の国内推薦を勝ち取れば、その流れも加速すると思いますので、重点はその辺りにと考えています。</p>
副会長	<p>「国仲線」「金丸線」は収支率が高く、よく見ると運行便数が少ない。これがどういう形態なのか。逆に「度津線」について運行便数は多いが収支率が低い。</p>
事務局	<p>「国仲線」「金丸線」については、佐渡高校、佐渡総合高校、真野小学校への学生車としての運行になり、乗車する児童生徒が確実にいるので収支率が高くなっている。「度津線」は中山間地の路線で人口減少による影響が大きいと考えている。</p>
委員	<p>今後はこのような利用の少ない路線はスクールバスの混乗も考えられる。</p>
副会長	<p>「本線」について収支率が100%を超えているが補助金についての説明をお願いします。</p>
事務局	<p>H27については黒字となっていますが、H26以前は93%台の収支率でした。2カ年連続で黒字であれば対象外となりますが、今年度については対象となります。</p>
委員	<p>低床化率が全国と比べて低い現状ですが、将来の目標について定めていますか。</p>
事務局	<p>網形成計画の中でH31までに導入率50%と定めています。</p>
事務局	<p>②平成27年度 事業報告及び決算報告について ○資料No.2、No.3について説明</p>
委員（監査委員）	<p>③平成27年度 監査報告について ○資料No.4について報告</p>

委員	<p>網形成計画について県バス協会の資料にも佐渡市と上越市が記載されている。この会での議論が注目されていると思うので慎重に検討していくことが必要だと考えている。</p> <p>路線再編について、課題に「本線の分断の影響」とありますので、各路線からの乗換えのデメリットを上回るようなダイヤを設定していかないと、特にお年寄りの方にはご不便をお掛けするので、この会で議論を重ねていくのが良いと思います。</p> <p>相川についてですが「七浦海岸線」も含めて検討していけば、相川病院バスも統合されて効率化が図れると感じております。</p>
事務局	<p>新潟交通佐渡(株)の運行データ等も参考とさせていただきたい。今後の作業については具体的な運行ダイヤの設定等、ご協力をいただき進めていきたい。</p>
委員	<p>コンパクトということについて、佐渡市では立地適正化計画等、商業施設や住居等を国中地域に誘導するような施策を今後行う考えはありますか。</p>
委員	<p>交通網の計画については最終系ということを示していますが、それと土地利用誘導をセットでということは考えていません。「佐和田」「金井」に誘導して、そこを中心としたコンパクトシティというのは佐渡市としてその考えは取っていません。</p> <p>最終系については、委員からもお話のあったとおり、今、利用されている方にとっては大幅な変更となりますので、相当慎重にと思っています。アンケート調査・地元説明会等、段階的にやっていく必要があると思っています。</p>
事務局	<p>《協議》</p> <p>①地域内フィーダー系統確保維持事業認定申請について</p> <p>○資料No.5 について説明</p>
副会長	<p>利用目標について「国仲・金丸線」については2割増、「宿根木線」については2割減となっている。どのような考え方で目標設定したのか。</p>
事務局	<p>路線の統合・迂回・延伸をする前年度の利用者数を維持確保することを目標として設定している。</p>

副会長	<p>「宿根木線」についてはH27については利用目標を超えている。それを下回る目標というのは適切だろうか。</p>
事務局	<p>利用促進を図ることは考えていくが、最低限、迂回・延伸前の利用人数を維持していきたいということで設定させていただいた。</p>
委員	<p>「国仲・金丸線」について、利用目標を 24,000 人としているが、統合前の「国仲線」「金丸線」の合計では 29,000 人程度となります。どのような考え方で目標設定したのか。</p>
事務局	<p>統合により運行便数の減が生じたので、そこを勘案して少なめに設定させていただいた。</p>
委員	<p>これまでの議論を踏まえて新潟交通佐渡㈱さんをお願いをしたい。外国人や観光客といった話があって、我々もその分野を取り込んでいくという網形成計画ができています。そこが国から一定の評価をいただいているところだと思っています。</p> <p>今日の事業報告にもあったように、ガイドを同乗させるとか情報発信・サービス向上といった取組は良い取組だと思いますし、相川循環バスについては、佐渡市も施策として支援をしながらやっています。</p> <p>今一番欠けていると思うのが、情報発信について外国人を含めた島外からの観光客に伝わっていないのが問題だと思っています。マーケットは大きいのだが十分取り込めていないというのが、結果として佐渡市からの補助金が高止まりしていることに繋がっていると思っています。</p> <p>観光二次交通事業というのは、ほとんどが広告宣伝関係で毎年同じようなパンフレットを作成している。それを是非見直してほしい。先日ケネディ大使もいらっしゃいましたが、大使館の職員もスマートフォンを使用して検索しています。利用者に合った情報提供手段というのを新潟交通佐渡㈱さんも素晴らしいホームページを持っていますので、ちょっとした工夫で改善できると思います。</p> <p>(地域内フィーダー系統確保維持事業認定申請について 承認)</p> <p>《その他》</p>
委員	<p>関係部署をお願いをしたいのですが、木々の伐採についてです。今日「南線」を通ってきましたが、椎崎温泉の所をきれいに刈ってありましたが、バスや大型車両ですと 2 m50 c m位の高さに枝が出</p>

	<p>ている所がございます。車両が走っていきますとミラーが破損をするという事例も出ております。</p> <p>もう一点幹線道路とは違いますが、新保川ダムから防衛道路までの間、約1km位ですが植樹をして両サイドに木々が伸びています。枝が頑丈なものですから寄れば寄るほど車両が傷つくことになっています。できれば早急に伐採をお願いしたいと思います。</p>
委員	<p>県道の箇所であれば交通における支障物については、日々のパトロールの中で伐採をしています。特にお困りの箇所があれば言っていただければ結構だと思います。教えていただければ対応します。</p>
オブザーバー	<p>新保川ダムから防衛道路の間ですが、市道金井5号線という路線であります。草木が出ているという話をいただきまして、一部処理をしたと報告を受けておりますが、まだまだ邪魔になる木々があるということであれば、一緒に現地を見まして対応をしなければと思っています。</p>
副会長	<p>《閉会》 あいさつ</p> <p>・・・ 終 了 ・・・</p>